

暴走止め ぐらし優先の政治に



題字
山口昭七氏

発行：日本共産党
伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
ホームページ
「JCP上伊那」

新年おめでとうございませう



日頃、日本共産党にご支援いただき厚くお礼申し上げます。昨年、安倍政権は戦争法（安保法制）、原発再稼働、TPPの大筋合意、米軍辺野古新基地建設着工などを強行し暴走政治を加速しました。

これに、「シールズ」「ママの会」「学者の会」をはじめ多くの団体と国民が戦争法の廃止を求めた運動は戦後最大規模になりました。伊那市でも党派を超えた取り組みが広がり日々大きくなっています。

今年も皆さんと力を合わせ戦争法廃止のため、政党や各団体との共同を更に強め7月の参院選で自公の議席を上回る成果をあげ、国民連合政府の実現向け前進したいと思えます。同時に、国政と地域などの要求実現にも全力をあげます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

2016年元旦

日本共産党伊那市委員会委員長・市議団長 柳川ひろみ

市議 前沢けいこ

市議 飯島 光豊

正月から行動開始

正月3日午後1時、「アベ政治を許さない」などの看板類をベルシャイン前で掲げ、声を上げ、戦争法廃止の署名を集める行動がありました。毎月3日午後1時に取り組もうと、作家の澤地久枝さんが提案した行動です。

市内の憲法九条を守る会の会員ら24人が参加し「戦争法廃止」を呼びかけました。短時間に41人が署名しました。30代の男性は「安倍政治は怖い、戦争は絶対だめ」と署名。次回

正月3日、ベルシャイン前で
の行動で署名に応じる人たち



武田良介候補のごあいさつ

あけましておめでとうございます。昨年3月に参院選比例候補として発表されてから10カ月、躍進を目指して活動してきました。「うちの子も、一人の青年も戦場に送らない」。揺るがぬ決意で頑張ります。

年末、沖縄に行きました。「米軍基地を辺野古に作らせない」「普天間の無条件撤去」という「オール沖縄」は、今年1月17日告示、24日投票の宜野湾市長選の勝利を目指しています。「安倍政権を倒さなければ、本当に基地は止められない」が沖縄の声——安倍政権打倒が最大の沖縄への連帯でもあります。

参院選告示まで、約半年。毎月、毎週、毎日の活動で国会へ駆け上がるを手繰り寄せる決意です。



必勝を誓う右から藤野やすふみ衆院議員、たけだ良介参院比例予定候補、唐沢ちあき選挙区予定候補、小林県議。12/20南箕輪で

は2月3日午後1時、大萱交差点（西箕輪）で予定としています。

地蜂

2016年申年。どんな気分でお迎えだろうか▼暮れの総選挙、躍進し、感激冷めやらぬまま迎えた2015年。戦争か平和かが問われた春の一斉地方選では「平和を願う一票は共産党へ」と訴えて前進。続く各地の選挙でも▼国会審議が進むにつれ、政府が「平和安全保障法制」と名づけたいわゆる戦争法案は次第にその姿が明らかになり、「これは黙っているわけにはいかない！」と多くの人が立ち上がった▼「国会で多数の議席を持つ」質問時間が長く確保される「法案の危険な本質を解明できる」くわたしたちの穏やかな当たり前の生活を守るために、党の議席をふやすことがいかに大切かを実感した方も多いはず▼残念ながら強行可決されましたが、あの瞬間からまた新たなたたかいが始まっている。広かった動き、創意工夫あふれたそれぞれのやり方で新しく運動に加わる人たちの姿は心強い。歴史はわたしたちの力で動かせる！さあ、今年どうやってひっくり返そうか？

わくわくする思いで迎えた新年▼戦争法廃止の2000万署名は、身近な人々に語りかけることそのものが大事。そしてまた、ひとりでも集める100筆より、100人で集める1筆1筆を大切に。新しい年、新たな気持ちで踏み出した。 (M・I)

自民倒す力づくり、戦争法廃止を！

2千万署名、宣伝、さらにも加速

昨年9月19日、安保法制（戦争法）が強行採決されたのに対して、「戦争法をなくそう」と全国各地で宣伝や抗議行動などが大きく広がっています。伊那では、12月6日、「上伊那平和集会」に約650人がつどい、憲法九条を守る会や民主団体による学習集会や宣伝、署名集めなどが精力的に取り組み強化されています。



青年と西箕輪九条の会

毎週木曜日、朝7時半から30分間大萱交差点でスタンディングに取り組むのは伊那の共産党青年後援会と西箕輪九条の会です。小雨でも強風でも毎回5人から10人で「戦争法は廃止」などの横断幕を掲げよびかけ続けています。車中からは手振りや目礼、クラクションで、「がんばろう」のかけ声も多く寄せられています。



12/6 熱く訴える小森陽一さん



平和のつどい

小森陽一さんの講演に650人

「上伊那平和のつどい」が12月6日、県伊那文化会館で行われ、650人が小森陽一さん（九条の会事務局長・東大大学院教授）の講演に聴き入りました。

小森さんは安保法制（戦争法）の強行採決を振り返り、その後も全国で法律の廃止を求め、青年やママさんらがたたかいを大きく盛り上げていること、400を超える地方議会が反対決議をしていること、九条の会の取り組みをマスメディアはもとにも報道しないことなどを実例をあげ詳しく話しました。2千万人署名目標にふれ「この間戦争法反対の集会等に国民の3・7%が取組み、17%の人が何らかの行動に参加したいとしている」と紹介、「2千万署名で安倍首相を追いつめよう」と呼びかけました。また、共産党が呼びかけた「国民連合政府実現こそ日本の未来にとって希望ある道」と力強く話しました。これに参加者は、大きな拍手で応えました。

集会では、歌声サークルの歌のあと、小学校教師、女子高校生らの意見発表、民主、社民、共産党の代表が決意表明。共産党は唐沢ちあき参院選挙区予定候補が力強く挨拶しました。



竜東九条の会

「会」ではこれまで3地区の全戸を対象にした署名行動で、122人を集め、同時に、いっせい行動には参加できない会員が、近所を訪ね集めています。なかでも有権者180人の日影区緑ヶ丘の3名の会員は、手分けして、すでに有権者の70%を超える130人を集め、さらに推進しています。また、「2000万署名にご協力ください」とのビラを作成（署名運動の趣旨、署名呼びかけ賛同団体の紹介、戦争法の解説などをまとめたもの）。訪問先で説明するのに役立っています。

美篤で看板

9条の会が笠原に立てた看板は通行人を激励しています。

「会」は戦争を国内外で体験した人の記録を残そうと「戦争記録集」の今年の春までの完成をめざして取り組んでいます。



東春近九条の会

12月12日午後「会員のつどい」がふれあい館で行われ、戦争を体験した小沢昌子さん（市内）の話をもとに20人余が聞き交流を深めました。4日朝は、竜東橋たもと宣伝に10人が参加。戦争法廃止署名1000人目標を3月末に達成を、と会員に依頼する等取り組みを強め、昨年末に300人突破させています。

5・3憲法記念日のつどい 戦争法廃止2000万署名

合同委員会を開催

1000人委員会・上伊那、平和つて何だ・伊那谷、各地域九条の会、上伊那地区労働組合会議、高等学校退職教職員などの会などが、12月14日、伊那市振興公社で、5月3日の憲法記念日のつどい（講演会…県伊那文化会館）成功のために共同で取り組むことを決めました。

第1回実行委員会は1月29日に予定。



また、2000万署名の取り組みの中核となる署名推進実行委員会（仮称）の事務局体制の確立や九条の会が行っているスタンディング・宣伝等の統一行動（毎月19日など）については、1000人委員会の「持ち帰り検討」となりました。（江間）

「学習の友」を活用して

上伊那学習協では毎月、多くの人に呼びかけて月刊「学習の友」

をテキストに学習会を行っていきす。12月11日は「タウンステーション伊那まち」で行いました。

「学習の友」12月号では春闘の歴史が特集されており、今回はその始まりと春闘五原則を学習しました。日本の春闘が誕生して61年。ストなど実力行使も行い、最低賃金・時短・雇用の改善をめざし闘いが続けられてきました。生活水準は全労連など労働者の闘いのなかでつくられてきたのです。

今回は、1月13日午後7時〜8時半。同じ場所で行います。

上伊那学習協・武田（連絡先76-0745）



伊澤修二と聴覚障がい者教育

伊澤修二と言えば音楽教育で有名ですが、日本聾史学会長野大会に高遠中学の塚田博之先生が伊澤修二について講演するとお聞きして参加しました。

演題は「伊澤修二がめざしたものの―視話法、盲啞教育等をめぐって―」です。その後、創造館や高遠図書館などで調べると、伊澤は英語の発音を正確にしたために視話法という聴覚障がい者のための発声法を学びます。帰国後、東京聾啞学校でこの教育法を教えています。日本語全般でも吃音矯正や方言を直すことにも取り組んでいます。

柳川ひろみ

この東京聾啞学校で学んだ小岩井是非雄は耳が聞こえませんでした。その後、岩手農業大学校（今の岩手大学）で働き、昭和3年松本聾学校の初代校長となりました。

伊澤修二は植民地となった台湾で日本語を教えています。聴覚障がい者の教育にも取り組んだようで、昨年、台湾から伊那市へ調査団が来たそうです。

当時の西欧諸国に学び、日本の教育に発達に忠じた方法を取り入れ、音楽や体育など五感に働きかける考えを取り入れた功績についても研究がなされるべきと思います。



掲載を終了するにあたって

建石繁明

人の尻馬に乗って振り落とされて怒ってみても始まらない。戦争法やTPPを怒ってみても、これを生み出したのは、私たち一人一人の投票結果の反映であることを認識しなければ始まりません。数は、力を背景にして、保守政党にぶら下がり、経済第一主義の日本を生きてきた私たちです。

その結果として、自然環境悪化の進行、所得格差の増大による貧困層の生活困窮の現実、福祉の切り捨てによる弱者いじめ、このように日本社会を見ると、日本の将来に明るい展望が見えてこないようにも思います。しかし、日本人もホモ・サピエンスの端くれであることに間違いはありません。

自民党の教育政策の継続は「自分が幸福に生きるための考える能力」を奪ってしまいました。一言で表現すれば、教育基本法の改悪によってもたらされた「教育の貧困」です。学校の先生（教育者）が自分の人生観、世界観、教育に対する信念を語れないとすれば、教育も学習も成立しません。しかし、自分の教育観を語ることは大変な勇気がいります。文部省を相手にして闘うためには、理論武装をしっかりとしなければなりません。実践を通じて学ぶしかありません。解決すべき課題は現場にしかありませんから。

最後になりましたが、私の雑駁な知識と拙劣な雑文をお読み戴きました。有難うございました。12月6日の小森陽一講演会・上伊那平和のつどいには大勢参加いただき、伊那谷の地域から戦争法廃止を皆さんと一緒に進める勇気をもらいました。（おわり）

「愛読ありがとうございます。次回からは中村光利さんです。」

随想

田楽座座長
故松田満夫さんのこと(上)

上の原 木村 保

長年「歌舞劇団田楽座」を導いてきた松田満夫さんとは、何時も、芸術家には貧乏は恥ではないと言いつけながら、ヒモジイ思いしながらも、熱っぽく芸術論をたたかわせた同士である。無口な彼が外にあまり語ることもなかった松田満夫という人の中心にあった芸術論と、それによって何をやり遂げようとしていたのかをふり返ってみることに致します。

「信濃民族芸能研究所田楽座」の名称で発足した田楽座を、現在の「歌舞劇団 田楽座」と変えたのは、松田満夫氏が座長になった時でした。この「歌舞劇団」という中身にこそ、松田満夫氏の確固とした芸術論があったのであります。

芸能とは、本来、人間が神を喜ばせることをもって神を呼び寄せ、あるいは、神様へ近づき、人間と神が対等の立場で、神様に来年の、あるいは今年の豊作豊漁、家内安全、商売繁盛を約束させるためのものである。この儀式を「祭り」と言う。そこには、神様に喜んでもらうために用意されたストーリーと歌舞が一体のものとして創りだされた。(踊りではなく舞いであることに意味があります。)

後に、より神を喜ばせるために楽器が独立し、専門化していったのである。この専門化された歌舞劇が、また、一つになることは必然であり、そのことによって新しい芸術ジャンルが生まれるはずである。

これが、松田氏の芸術論の中心をなす論であった。

(続く)

催し案内

☆ 党と後援会総決起集会

1月23日(土) 午後1時～
安曇野市・サンモリッツ
井上さとし・藤野やすふみ両議員参加
申し込み先 党地区委(72-2465)

☆ 「戦場ぬ止め」上映会

1月24日(日) 午後2時～
高遠町福祉センター(やますそ)3F
観賞券:一般1000円(当日1200円)
高校生以下:500円
主催 高遠町9条の会
連絡先 大場(94-3594) 鈴木(94-4021)
石川(94-4410)

☆ 前沢けい子後援会・ 日本共産党ファンクラブ「新春のつどい」

1月24日(日) 11時～
有報堂 参加費1000円
連絡先 有報堂(76-4353)

☆ 柳川ひろみ後援会「新年会」

2月7日(日) 午後2時～4時
中央区公民館 会費1000円
連絡先 柳川ひろみ(090-9667-5320)

☆ 飯島光豊後援会「新春のつどい」

2月7日(日) 午後3時～
渡場すこやか館 参加費1000円
連絡先 渡辺(72-4748) 市川(73-2928)

風物詩

冬桜咲く

(伊那市美篤中県)



今年の元日も咲いていました。薄ピンクの小さい花で、時ならぬお花見が楽しめます。春にも咲きますがこの頃には葉っぱを付けています。花言葉は「冷静」冬の寒く澄み切った空に、凜とした姿で咲くことが由來

☆ 「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時半

いなっせ北側広場

主催 さよなら原発上伊那の会

連絡先 医療生協組合員センター

1月1日: 竜東・高遠 8日: 西箕輪・
西春近 15日: 手良 22日: 東春近
29日: 富県 (医療生協担当支部)

♡ 8日には150回を数えました!!